

編集後記

本特集を編集しているときに、藤戸氏の作品はアメリカのスミソニアン協会国立自然史博物館でも展示されたと知った。そのとき頭をよぎったのは、ここ数年ある人物の生涯に関する資料を探るなかでたまさか出会ったアメリカの彫刻家ジェイムズ・クラークと彼の彫像である。クラークは動物の彫像で一家をなしていた。同時に剥製師としても知られ、剥製の師カール・アケリーの没後はその跡を受けて、生きた動物が動き出さんばかりの姿をした剥製をジオラマ展示する技術で、当時の自然史博物館に多大なる影響を与えたという。もとより小生がスミソニアン、動物の彫刻という連想で結び付けただけで、両者のあいだに具体的なつながりはない。企画展では、藤戸氏が自然をどう造形しているのか、本欄執筆中は開催準備中であるため、開催後はそれこそ隅々まで見ることを楽しみにしている。(丹羽典生)

●表紙：藤戸竹喜「親子熊」（2004年、作家蔵） 撮影：露口啓二

次号の予告

特集

「万博資料収集団」（仮）

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために——会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引に比べ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893／平日9:00～17:00)

月刊みんぱく 2018年2月号

第42巻第2号通巻第485号 2018年2月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生（編集長） 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一孝 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

